2024.3.25

総合計画審議会
第１回専門部会

資料第１号

第６次尼崎市総合計画

計画期間PDCAについて

尼崎市　都市政策課

本日の論点

- 後期まちづくり基本計画策定に向けたスケジュールの確認
- まちづくり構想の点検手法
- まちづくり構想の進捗確認手法
- 前期まちづくり基本計画の計画期間PDCA

後期まちづくり基本計画策定に向けたロードマップ（案）

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
４月 第６次総合計画 始動	総合計画の推進、計画期間PDCAについて 総合計画審議会において点検	１月 第６次総合計画 中間点検結果報告書作成 ３月 後期まちづくり基本計画 諮問	後期まちづくり 基本計画策定	５月 後期まちづくり基本計画 答申 ６月 後期まちづくり基本計画 議決

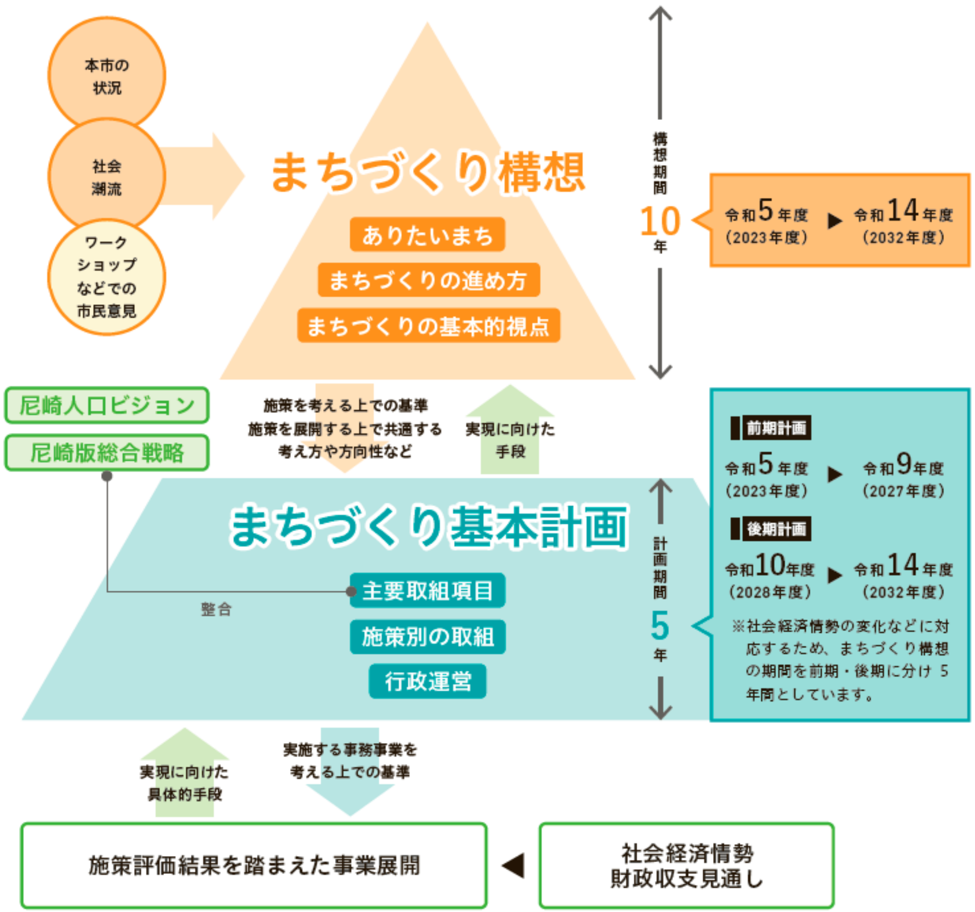
●上記ロードマップ（案）を踏まえ、総合計画審議会等において議論を進める

第6次尼崎市総合計画の構成

第６次尼崎市総合計画の推進

・第６次尼崎市総合計画（まちづくり構想・前期まちづくり基本計画）が令和５年度から始動
・計画の推進、進捗管理は、まちづくりの計画期間PDCAも踏まえて実施

≪総合計画の構成≫



－　まちづくり構想　－

・まちづくり構想は**１０**年間として設定
・わたしたちの**「ありたいまち」**の姿を設定
・「まちづくりの進め方」や「ルール」を記載
・社会潮流や本市の状況を踏まえた**「まちづくりの基本的視点」**を設定

－　前期まちづくり基本計画　－

・前期まちづくり基本計画は**５**年間として設定
・**「連携」**と**「PDCAサイクル」**を意識
・**「総合指標」**により評価を実施
・複数年かけて取り組む**「主要取組項目」**を設定
・施策別の取組、行政運営を記載

第6次尼崎市総合計画の計画期間PDCA

第６次総合計画 構成

はじめに

1	総合計画の考え方
2	総合計画の構成と期間

まちづくり構想

1	社会潮流
2	本市の状況
3	「ありたいまち」と5つのありたいようす
	まちづくりの進め方
	（1）ともに進めるまちづくり
	（2）市の責務
4	まちづくりの基本的視点

リンク

まちづくり基本計画

1	PDCAサイクルと横連携を重視したまちづくり
2	まちづくりの総合指標
3	施策体系
4	主要取組項目
5	施策別の取組（各論）
6	行政運営

－ １．まちづくり構想の点検 －

⑴ 社会潮流や本市の状況を踏まえた、まちづくりの基本的視点について点検

－ ２．まちづくり構想の進捗確認 －

⑴ 「ありたいまち」の実現状況の確認

⑵ 「まちづくりの進め方」の確認

－ ３．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認 －

⑴ 単年度PDCAサイクルの積み上げ

⑵ さらなる連携の視点

1．まちづくり構想の点検

ご意見をいただきたい点

総合計画の中間評価にあたり、「社会潮流」、「本市の状況」の変化を踏まえた「まちづくりの基本的視点」にずれがないかを点検し、次ページ以降のように計画期間中の変化や現状について記載していく想定。その正当性や根拠となる情報等についてご意見をいただきたい。

1．まちづくり構想の点検

⑴　社会潮流や本市の状況を踏まえた、まちづくりの基本的視点について点検

まちづくりの基本的視点は、社会情勢や本市の状況等を踏まえて設定

【点検方法】

社会情勢を踏まえ、定性的に評価

【点検項目】

●社会潮流の変化

・人口減少社会の進行
・多様化するコミュニティの形態と地域におけるつながりの希薄化
・脱炭素社会の実現に向けた機運の高まり
・デジタル化の進展
・産業構造・労働環境の変化
・災害対策など安全・安心への意識の高まり
・新型コロナウイルス感染症がもたらした新たな日常

●本市の状況の変化

・人口動態の見通し
・土地利用の特徴と変化
・行財政運営の状況

●まちづくりの基本的視点

・バランスの取れた人口の年齢構成の実現
・まちへの想いの醸成と交流の創出
・地域共生社会の実現
・地域特性を生かした魅力と活力の創生
・持続可能な社会を支える基盤整備
・安定した行財政基盤の確立

“ずれ”がないかどうかを点検

1．まちづくり構想の点検

●「社会潮流」記載事項の現状（主に全国的な状況）

・人口減少社会の進行

　出生率が過去最低を更新し、国立社会保障・人口問題研究所の想定よりも早く少子化が進んでいる。婚姻率も戦後
初めて50万組を切り、出生数増加への反転も見通せない状況となっている。

・多様化するコミュニティの形態と地域におけるつながりの希薄化

　全国的に自治会の加入率は低下しており、本市の社協加入率についても減少が続いている。

・脱炭素社会の実現に向けた機運の高まり

　カーボンニュートラルや生物多様性、３Rのさらなる推進など、環境問題への意識は高まっている。

・デジタル化の進展

　デジタル田園都市国家構想やシステムの標準化、自治体DX推進計画など、デジタル化の気運はさらに高まっている。

1．まちづくり構想の点検

●「社会潮流」記載事項の現状（主に全国的な状況）

・産業構造・労働環境の変化

　企業の賃金引き上げの動きもみられているが、物価高騰や円安による影響もあり、実質賃金は令和５年12月末時点で21か月連続低下している。

・災害対策など安全・安心への意識の高まり

　能登半島地震の発生により、意識の高まりがみられる。今後、復興や減災に向けての課題等も明確になることも想定される。

・新型コロナウイルス感染症がもたらした新たな日常

　テレワークの普及等の社会様式の変化がみられている。一方で、コロナ前の生活様式に戻りつつあり、外国人観光客等も多くみられるようになっている。また、本日のような会議をオンラインで実施する手法も選択できるようになった。

１．まちづくり構想の点検

●本市の状況の変化

・人口動態の見通し

　令和５年中の人口動態は、自然動態が2,614人の減となった一方、社会動態については、1,765人の増加となり、社会動態が減少に転じた昭和44年以降で最も高い数字となっている。また、ファミリー世帯については、180世帯の転出超過となり、前期まちづくり基本計画で定める目標値を達成している状況となった。ファミリー世帯の転出理由については、2025年中を目途に転出者等へのアンケート調査を実施する想定をしている。

・土地利用の特徴と変化

　鉄道駅周辺のエリアブランディングが進み、ファミリー世帯向けの住宅供給に向けた誘導を進めている。また、臨海部には物流倉庫が増加しており、交通渋滞や路上駐車等の課題も生じている。

・行財政運営の状況

　財政運営方針に基づき、規律のある財政運営を行うとともに、確保できた財源を子ども・子育て施策へ投資するなど、限りある資源を有効に活用すべく取組を進めている。

2．まちづくり構想の進捗確認

ご意見をいただきたい点

「ありたいまち」に近づいているかどうか、「自治のまちづくり」が進んでいるかどうかの確認方法について、その妥当性やその他の手法の提案などをいただきたい。

2．まちづくり構想の進捗確認

⑴　「ありたいまち」の実現状況の確認

ありたいまちの姿は人それぞれであるということを、「ひと咲き まち咲き あまがさき」という抽象的な言葉で表現し、「尼崎らしい５つのありたいようす」として示した

【確認方法】

●市民意識調査による評価

「ありたいまち」としての「ひと咲き　まち咲き　あまがさき」の認知度　など

「ひと咲き　まち咲き　あまがさき」が本市のまちのキャッチフレーズだと知っている

	R1	R2	R3
知っている	**51.4%**	**48.7%**	**55.9%**
知らない	44.9%	46.6%	39.5%
無回答	3.8%	4.7%	4.5%

ありたいまちが「ひと咲き　まち咲き　あまがさき」だと知っていますか

	R4
言葉の内容や意味を知っている	**8.9%**
言葉は聞いたことがある	**60.2%**
知らない	28.3%
無回答	2.6%

2．まちづくり構想の進捗確認

⑵「まちづくりの進め方」の確認

「ありたいまち」の実現に向け、自治のまちづくり条例の「４つの理念」（情報共有、参画、協働、対話）を踏まえ、「まちづくりの進め方」を設定

【確認方法】

●市民等の声（有識・市民部会等の実施　など）による評価

市民委員を中心に検討し、○○年前と比較したまちの変化や感じ方などについて考える機会を作る

「尼崎らしい５つのありたいようす」の実現度　など

（シチズンシップ・シビックプライド）	みなぎる。つながる。わたしたちのチカラ
（社会的包摂・多様性）	ほっとかない。だれも、なにも
（産業・活力）	きり拓く。ひと、しごと
（利便性・都市機能）	たかまる。便利でご機嫌な暮らし
（持続可能性）	ひろげる。一歩先の選択肢

●協働の事例検討を通じ、成功事例や課題等について評価

自治のまちづくりの進捗確認の一つとして、協働のまちづくりの事例を集め、今後のまちづくりに活用する。

➡ 実現度を評価し、実現に向けた取組等について確認

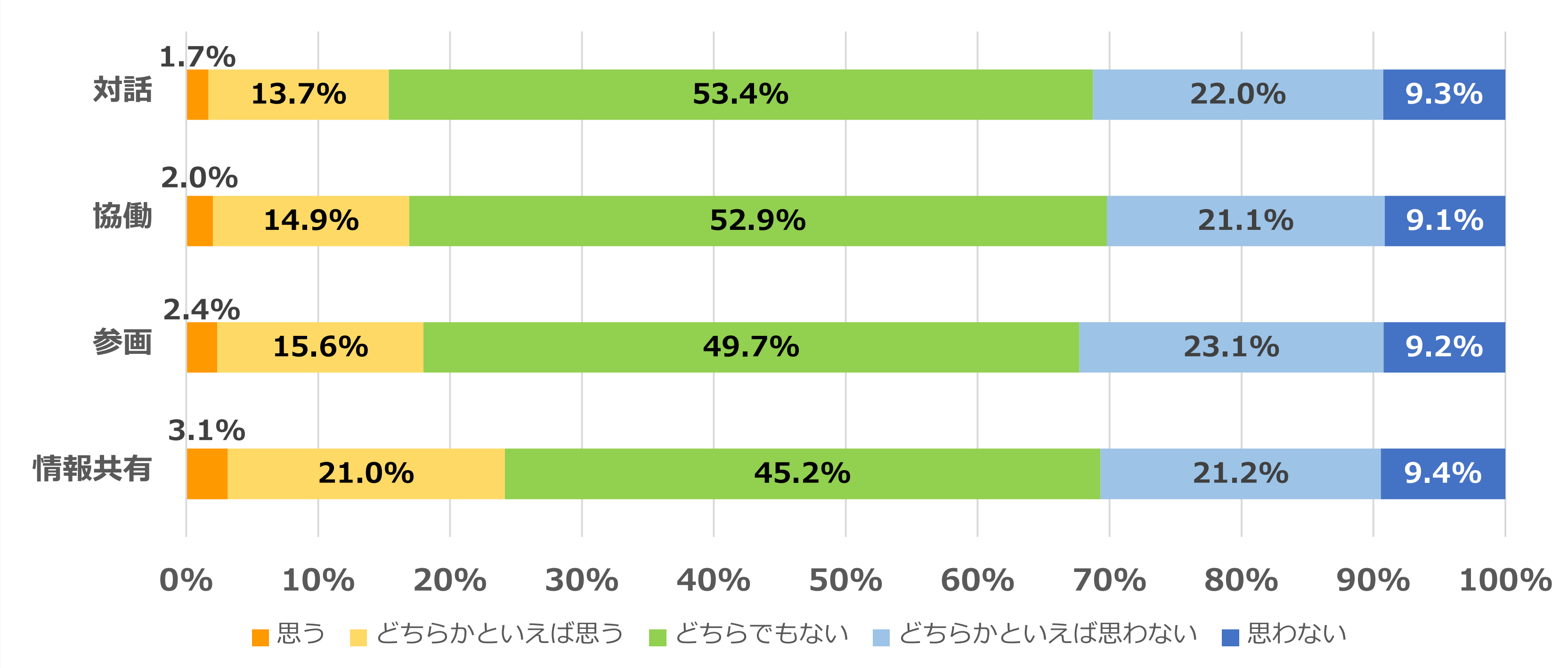
⑵「まちづくりの進め方」の確認　ーともに進めるまちづくりー

【確認方法】

●市民意識調査による評価

自治のまちづくり条例に定める「４つの理念」の実現度　など

「４つの理念」の実現度（R4）



2．まちづくり構想の進捗確認

⑵「まちづくりの進め方」の確認　ー市の責務ー

行政運営の視点から取組を評価

【確認方法】
●施策評価による評価

①【協働】ともにまちづくりを進めるために

・市民の市政参画と情報の共有・発信
・さらなる協働のまちづくりの推進

②【人材育成・組織体制】行政運営の実効力を高めていくために

・職員の資質向上とワーク・ライフ・バランス
・本市DXの推進と最適な業務執行体制の構築

③【行財政】市民生活を支え続けるために

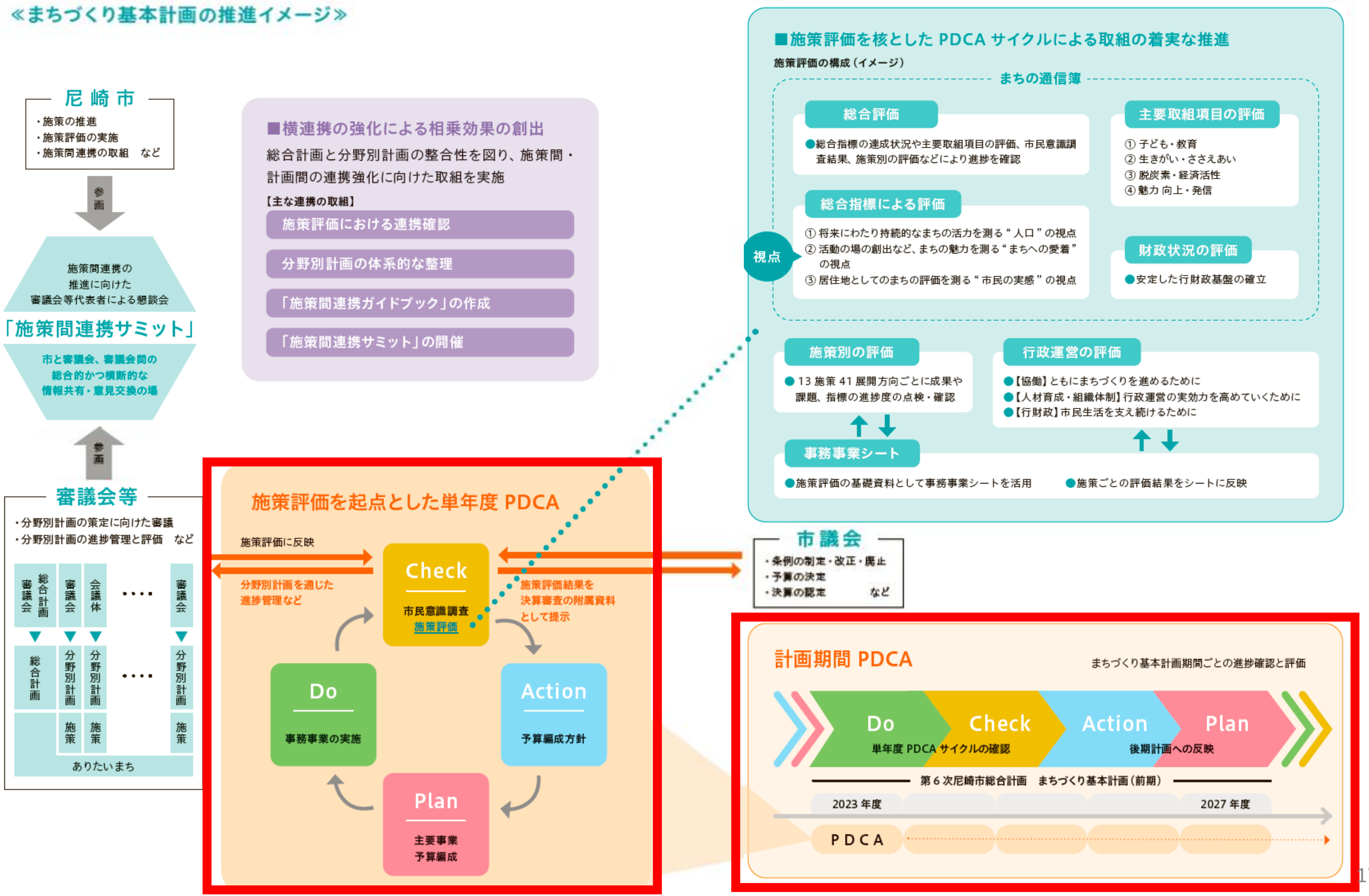
・安定的な財政運営の推進
・公平・公正な負担に向けた債権管理の適正化
・公共施設マネジメントの着実な推進

３．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

ご意見をいただきたい点

１　総合計画の中間評価にあたり、令和３年度の市民意識調査からの指標の経年変化や、各年度の予算への反映状況等の積み重ねによる評価を予定しているが、その妥当性や別の視点による評価についてご意見をいただきたい。
２　さらなる施策間・計画間・庁内連携強化に向けた仕組みについてご意見をいただきたい。

前期まちづくり基本計画の推進について



3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

●施策評価を起点とした単年度PDCAによる進捗確認

・**総合指標**
　まちづくり基本計画全体の進捗を把握するため、まちづくりの総合指標の進捗を踏まえた評価を実施

・主要取組項目
　複数年をかけて優先的かつ集中的に取り組む主要取組項目は、それぞれの項目ごとに、施策間の連携を確認しながら施策を超えた評価を実施

・施策別の評価
　施策の展開方向ごとに、総合戦略の観点や市民意識調査結果、目標指標の進捗状況などを踏まえた評価を実施

・行政運営
　財政状況など「施策」に分類されない「行政運営」についても目標指標の進捗状況や中長期的な目標に対する取組状況などを踏まえた評価を実施

●連携の視点の確認

・主要取組項目を中心とした施策評価による確認
・分野別計画の体系的な整理と「施策間連携」の取組

→

●まちづくり基本計画期間ごとのPDCAサイクル（計画期間PDCA）による点検

・単年度PDCA実施の蓄積による評価
ex)各指標の推移、選択理由の順位
主要取組項目と予算編成のあり方　など

↓

●後期まちづくり基本計画に反映させる点の検討

・指標の変更について

・主要取組項目の再編について

・施策体系、行政運営の再編について

・さらなる連携の視点について

3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

⑴　単年度PDCAサイクルの積み上げ

●施策評価を踏まえた予算編成

・施策評価（PDCAサイクルのDo、Check）

　毎年度、実施した施策の成果や課題を確認し、今後の取組につなげるため、市民意識調査結果や各施策で設定している客観的な指標を踏まえて施策評価を実施している。

　この評価結果は、毎年度の決算資料として活用し、市議会において意見をいただくとともに、広く市民に公表している。

・予算編成（PDCAサイクルのAction、Plan）

　施策評価結果を踏まえ、重点化する項目などの予算編成の方針を示すとともに、方針に基づいて予算の編成を行う。また、新年度に新たに実施する事業や拡充する事業、また、廃止とする事業等について一覧にし、パブリックコメント等で意見をいただいている。

＜参考＞施策評価の見方

施策名：
施策番号：　-

施策名		展開方向	
主担当局			

2 目標指標

指 標 名	方向	基準値（R3）	目標値（R9）	実績値 H30	R1	R2	R3	R4
A								
B								
C								
D								
E								

展開方向の進捗状況を客観的に測る「目標指標」及び「目標値」を設定しています。目標年度は原則令和9年度とし、基準値は令和3年度としています。
また、これまでの経年変化を確認するため、実績値は平成30年度から記載しています。

3 主要事業一覧

令和5年度　主要事業名

令和4年度　主要事業名

直近3か年（令和3～5年度予算）における主な主要事業を記載しています。

4 参考グラフ等

「2　目標指標」に掲げるA～Eの指標のうち、当該展開方向において特に重要と考えられる指標について、グラフにして記載しています。

5 担当局評価

これまでの取組の成果と課題（目標に向けての進捗と指標への貢献度）（令和4年度実施内容を記載）

令和4年4月から令和5年3月末までの主な取組内容が、関連する目標指標や市民意識にどのように影響したのかを踏まえ、その成果や課題について主担当局が記載しています（担当局評価）。

令和5年度の取組

左記「これまでの取組の成果と課題」を踏まえ、令和5年度に取り組んでいる事項について主担当局が記載しています。

主要事業の提案につながる項目

「これまでの取組の成果と課題」や「令和5年度の取組」を踏まえ、次年度の「主要事業の提案につながる項目」について主担当局が記載しています。

6 評価結果

評価と取組方針

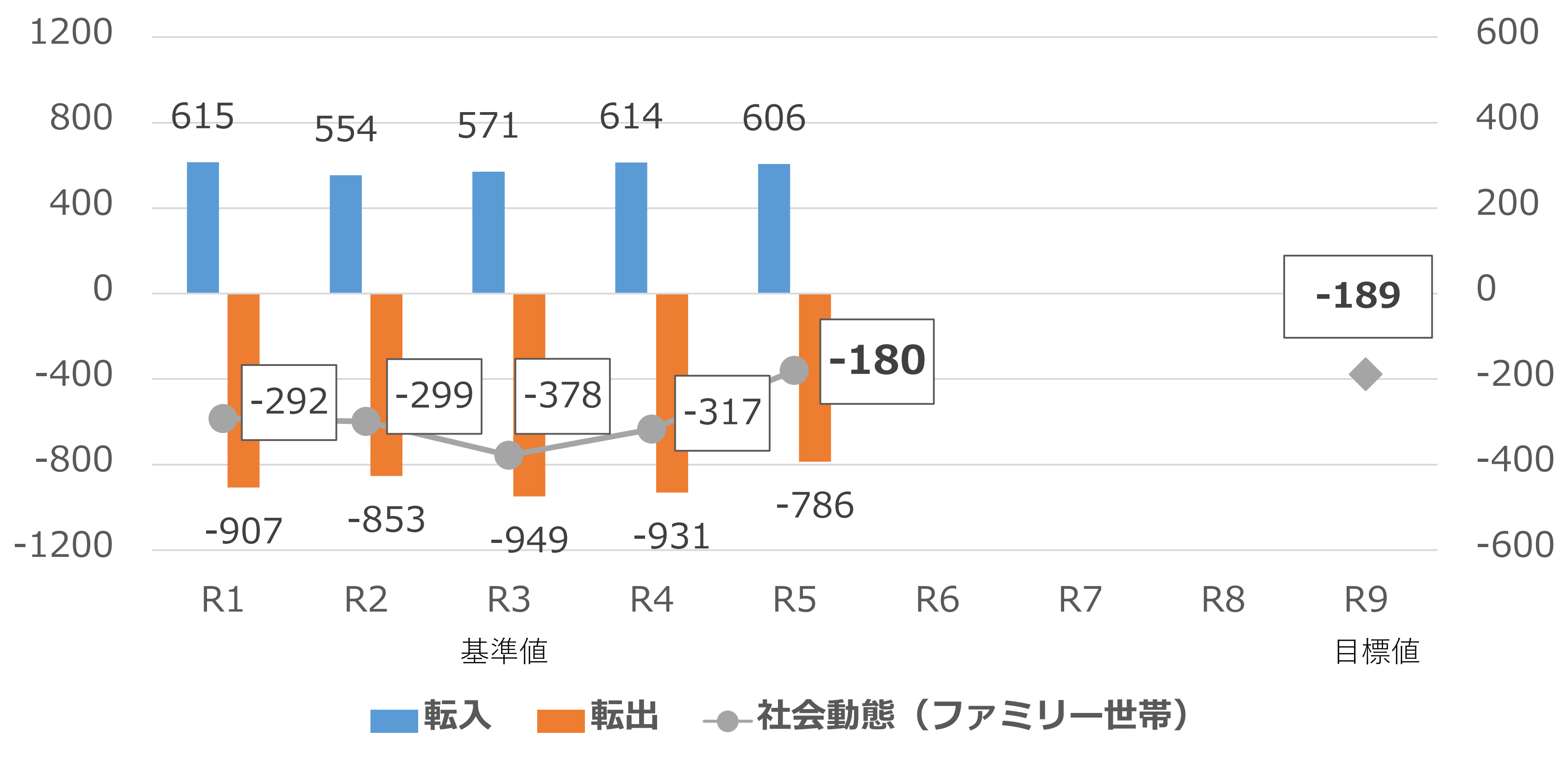
目標指標の達成状況、市民意識調査、担当局評価の内容を踏まえ、市長評価の結果を記載しています。

3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

⑴　単年度PDCAサイクルの積み上げ

●総合指標による評価

・ファミリー世帯の転出超過数の推移

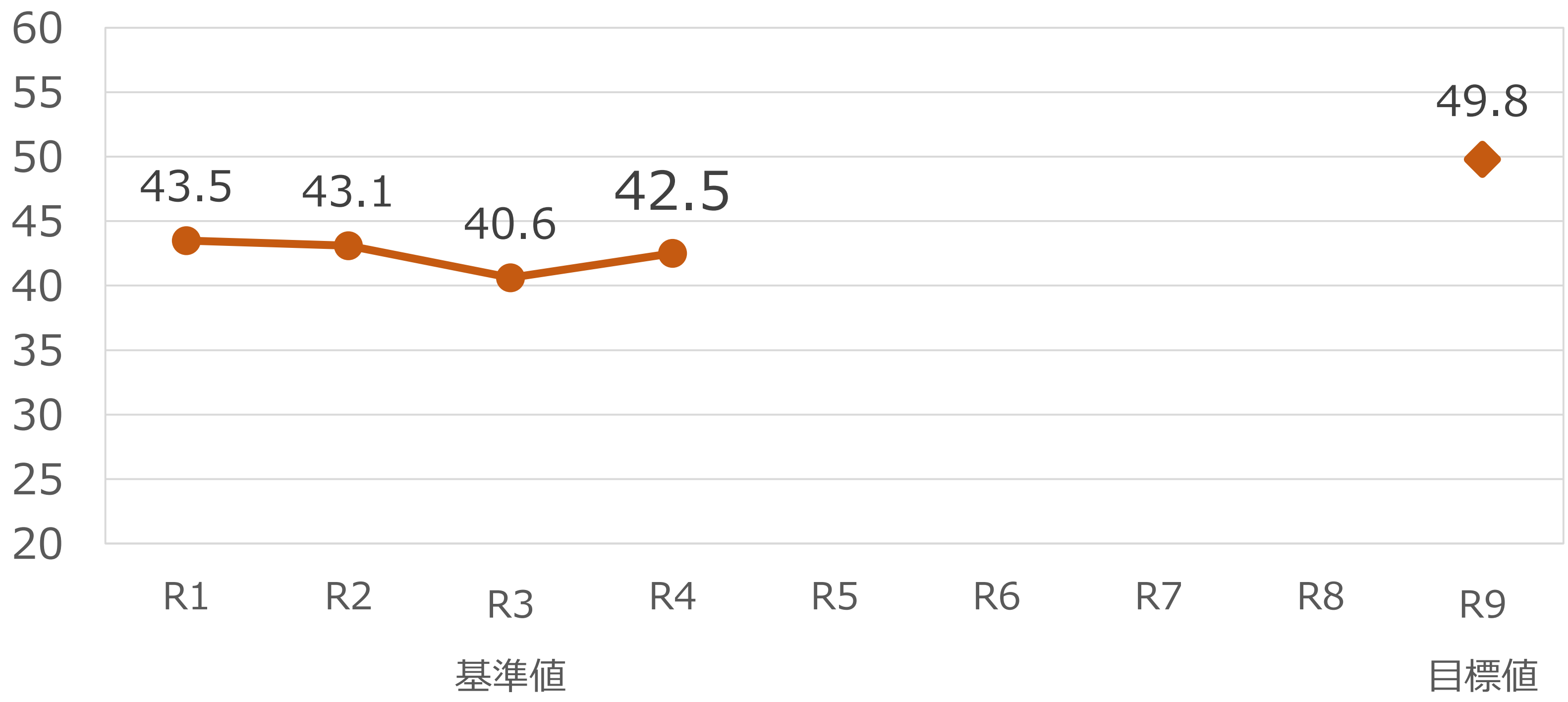


3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

⑴　単年度PDCAサイクルの積み上げ

●総合指標による評価

・市民参画指数の推移（再掲）

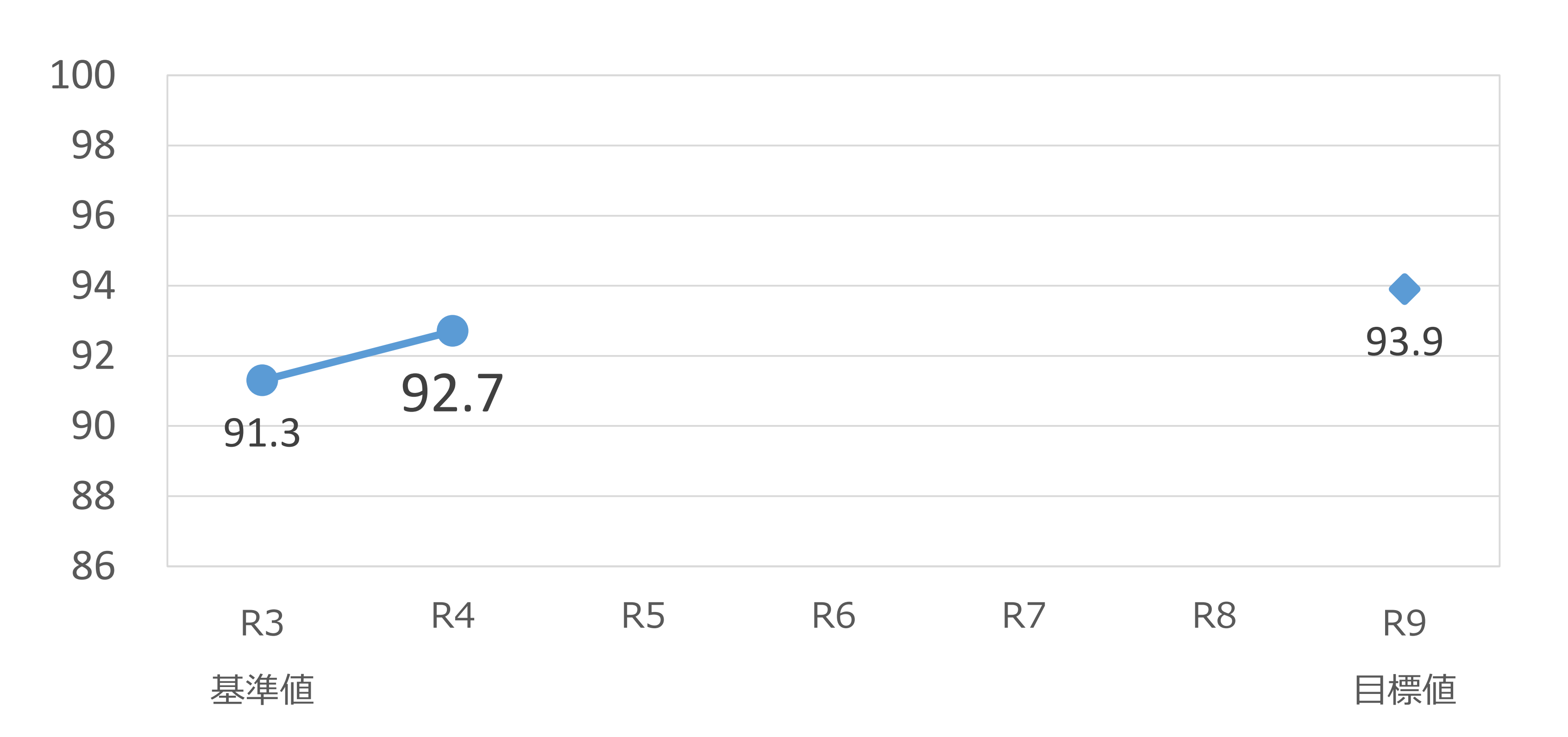


3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

⑴　単年度PDCAサイクルの積み上げ

●総合指標による評価

・「尼崎市に住んで良かった」と感じている市民の割合の推移



3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

⑴　単年度PDCAサイクルの積み上げ

●後期まちづくり基本計画に反映させる点の検討

・指標の変更について

単年度PDCAサイクルを回すことで、施策を正しく評価できていない指標があった場合や、より適切な評価指標がある場合に指標を変更する。

令和５年度実施分の市民意識調査の主な変更点

・回答率の向上を目指し、Web回答もできるように変更

・子育てしやすい環境に必要なことを尋ねる質問を追加

・本市の職員に対して感じていることを尋ねる質問に、１年以内に本市の職員と接したかどうかを尋ねる質問を追加

・市の情報を入手するための広報媒体や、日常的に利用している広報媒体を尋ねる質問を追加

・まちづくりに対する意識として、行政の役割や市民の活動が重要であるかどうかを尋ねる質問を追加

他

3．前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

⑴　単年度PDCAサイクルの積み上げ

・主要取組項目の再編について

　強力に連携を進める必要がある分野や、複数年をかけて取り組むべき項目について再編し、後期まちづくり基本計画においても連携を意識しながら各分野の取組を進められるようにする。

・施策体系、行政運営の再編について

　施策体系について、必要に応じて統合や分割、順番の入れ替えなどを行い、後期まちづくり基本計画中の各施策の取組をどのように進めていくかを検討する。

⑵　さらなる連携の推進

　施策間、計画間、SDGsによる連携等の枠組みや、施策間連携ガイドブックの作成や、施策間連携サミットなど、連携の取組を進めているところであるが、より強力に連携を進めることのできる手法や、連携による相乗効果等を期待できる手法等について検討する。